

まえがき

Web とデータベースに関するフォーラム(WebDB Forum)は、情報処理学会データベースシステム研究会、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、日本データベース学会の主催イベントとして 2008 年より毎年開催され、今年で 12 回目となります。Web およびデータベースの研究コミュニティの産学連携の場、質の高い研究発表の場として広く認知され、幅広い分野の研究者、技術者、学生が一同に会するイベントに成長しています。今年の WebDB Forum 2019 は、工学院大学を加えた 4 団体の主催により、2019 年 9 月 8 日および 9 月 9 日の 2 日間にわたって工学院大学新宿キャンパスにて開催されます。

WebDB Forum では、昨年からの研究発表と企業による技術報告を同じセッション中に組み込むなど、新たな取り組みを進めています。さらに、WebDB Forum 2019 では「Web とデータベースのこれからがわかる 2 日間」と題して、従来までの情報処理学会論文誌：データベース (TOD) に掲載された論文の口頭発表を中心に、査読付き論文の復活、ポスター発表の大幅な拡充、「先端研究解説セッション」の新設、など、萌芽的な研究から最先端の研究までを網羅するイベントとして企画しています。

特に、査読付き論文は WebDB Forum 2019 の中核を成すもので、37 件の応募論文の中から、厳正な査読を経て 22 件の論文が採択されました。査読付き論文の審査にあたっては、研究の完成度のみにとらわれず、研究の萌芽性・発展性が高い論文を積極的に採録しました。査読付き論文は、TOD やスポンサー企業による技術報告と同じセッションでの口頭発表が行われ、これからの Web とデータベースに関する研究に関して活発な議論が期待されます。

また、今年度から口頭発表とは別にポスター発表単独での募集を行い、学生を中心に 56 件の応募があり、口頭発表者、スポンサー企業、DBSJ Data Challenge 参加者を含め総計で 100 件を超えるポスター発表が予定されており、組織や立場を超えた活発な交流が期待されます。

さらに、「先端研究セッション」では、ここ数年で Web やデータベースに関連する著名な国際会議で論文を発表された新進気鋭の若手研究者 9 名の方々に、自らの研究を解説していただき、世界の最先端の研究動向を知る機会を提供することを目指しました。

最後になりましたが、本フォーラムの開催にあたってご尽力いただいた実行委員およびプログラム委員の皆様、ご協力いただいたスポンサー企業・団体の皆様に深く感謝申し上げます。

フォーラム委員長
吉川 正俊

実行委員長
鈴木 伸崇

プログラム委員長
牛尼 剛聡